

令和7年度 環境科学部 環境デザイン学科  
学校推薦型選抜 総合問題

〔注 意〕

- 1 机上に受験票を提示しておくこと。
- 2 監督者の指示があるまで、この冊子を開いてはいけない。
- 3 解答は必ず別紙の解答用紙の指定された箇所に記入すること。
- 4 解答用紙に受験番号・氏名を必ず記入すること。  
受験番号・氏名が記載されていない答案は無効となる場合がある。
- 5 この冊子は、問題 15 ページおよび解答用紙 3 枚からなっている。
- 6 この冊子のうち、落丁・乱丁及び印刷の不鮮明な箇所があれば、手をあげて申し出ること。
- 7 字数制限のある解答では、句読点やカッコ、数字はそれぞれ 1 字として数える。
- 8 満点は 200 点である。
- 9 試験時間中の退室は認めない。
- 10 解答用紙は持ち帰ってはいけない。
- 11 問題と下書き用紙は持ち帰ること。

1 次の文章を読み、以下の問1から問6に答えよ。(100点)

(著作権の関係で不掲載)

(中略)

(著作権の関係で不掲載)

(著作権の関係で不掲載)

(中略)

(著作権の関係で不掲載)

(著作権の関係で不掲載)

(中略)

(著作権の関係で不掲載)

## (著作権の関係で不掲載)

出典：加藤耕一『時がつくる建築 リノベーションの西洋建築史』東京大学出版会，2017年  
(ただし，出題の都合上，原文の一部を変更している)

注1) 既存建物の用途を変更した上で改修を行い，古い建築物を再生する手法。

注2) 建物の外観，特に正面のデザイン。

注3) 主祭壇が安置されるなど，教会建築の奥まった部分に設けられた聖職者専用の空間。

注4) 本稿では「時を経て古くさくなり，時代の要請に合わないために使いにくいと判断された建物を破壊して，新築する手法」  
のこと。

問1 筆者が考える「新築」と「リノベーション」の位置付けの変化を、150字以内で説明せよ。ただし2つの文で構成し、1文目の書き出しは「20世紀的価値観では」とし、「20世紀的価値観」ではどのように捉えられているかを説明すること。2文目の書き出しは「しかし」とし、筆者が考える両者の位置付けを説明すること。

問2 下線部④「『保存』と『再利用』の溝はまだまだ深い」とあるが、その内容を「建物の種類」と「改修の仕方」の2つの観点から150字以内で説明せよ。

問3 下線部⑤「日本のリノベーションは・・・広がりを見せるようになった」とあるが、こうした動きを押し進めていると考えられる社会的な要因を2つ類推し、リノベーションがもたらす効果と併せて200字以内で説明せよ。

問4 下線部⑥「『点の建築史』は近代的建築観を色濃く反映した危うさを秘めている」とあるが、これはどういうことか。「保存主義」「復原主義」「再開発主義」の3つの用語を全て用いて、200字以内で説明せよ。

問5 問題文の表現を直接用いずに（単語レベルでの使用は可）、「線の建築史」の価値観を50字以内で説明せよ。ただし「・・・とは異なる、・・・価値観」という構成で記述すること（指定された語句の字数も50字以内に含める）。

問6 「保存」又は「再利用」の事例を以下から1つ選択し、①「保存」又は「再利用」の概要と、②建築的な特徴、の2点が分かるように100字以内で説明せよ。

金沢市民芸術村、京都マンガミュージアム、倉敷アイビースクエア、東京駅、ノートルダム大聖堂（パリ）

2 住宅制度に関する次の文章を読み、以下の問1から問5に答えよ。(50点)

(著作権の関係で不掲載)

## (著作権の関係で不掲載)

出典：#Housing2030: Effective policies for affordable housing in the UNECE region, UNITED NATIONS ECONOMIC COMMISSION FOR EUROPE, 2021, pp.41 ~ 43 (ただし, 出題の都合上, 原文の一部を変更している)

注：1) governance：統治, 2) estates：団地, 3) ownership：所有, 4) rented housing：借家, 5) tenants：借家人, 6) provision：提供, 7) consultation：協議, 8) underpinned：裏付けられた, 9) landlords：家主, 10) rents：家賃, 11) tenancy：賃貸契約, 12) vacant：空き家, 13) embedding～：～を根付かせること, 14) ethos：精神, 15) be anchored：根差す, 16) paternalistic：父権主義的な

問1 以下の（ア）～（エ）の記述のうち、下線部㉔の内容と合致するものを1つ選び、その記号を示せ。

- （ア） 住宅管理に借家人が参加する場合には、住宅団地に関する重要な意思決定はすべて借家人のみで行っている。
- （イ） 営利を目的としない住宅経営を行っている家主は、廉価な家賃を希望する借家人の保護に注力している。
- （ウ） 非営利組織や協同組合が住宅を供給してきた国では、家主と借家人が協力しあって住宅団地を管理する傾向がある。
- （エ） 住宅管理に借家人が関与できるのは、現状では協同組合が所有する非営利の賃貸住宅のみである。

問2 下線部㉕に記された問題が発生する理由と、その結果として生じると考えられることを、あわせて150字以内の日本語で具体的に説明せよ。

問3 以下の（ア）～（カ）の記述のうち、問題文と合致する内容を2つ選び、その記号を記せ。

- （ア） The International Union of Tenants (IUT) has been calling on governments to give tenants more control over their housing.
- （イ） Involving tenants in decision-making relevant to their homes is not difficult and can be achieved in any country.
- （ウ） In private rented housing, tenants are not encouraged to participate in housing governance in order to protect the rights of landlords.
- （エ） The level of participation that residents can have in governance of their homes varies by type of tenancy and by country's legal system.
- （オ） The “resident-focused” model is more commonly used in governance of private rented housing.
- （カ） As regulations of the housing system might give negative effects on housing market, it would be better to minimize it.

問4 以下の文章は、学生A、B、Cがそれぞれ、問題文を要約しようとしたものである。しかし、いずれにも誤りが含まれている。学生Aの例に倣い、学生B、Cの文章で誤っている部分に下線を引き、その個所を問題文と合致する内容にするにはどのように修正すればよいかを簡潔に説明せよ。

(例示)

学生A：借家人の権利を掲げる国際的な組織が結成されている。ただし、実際にそのための法制度をもつ国はない。借家人の権利については、これを「消費者」の権利と捉える立場と、「居住者」のそれと捉える立場がある。いずれの立場であれ、借家人の権利を実質化するには、法制度を整備するに比べ、物事を借家人とともに行うという姿勢が大切である。

修正内容：下線部を「実際にそのための法制度をもつ国もある」と修正する。

学生B：借家人の管理活動へのかかわり方は、借家人を「消費者」とみるか、「居住者」とみるかによって異なる。借家人を「居住者」とみなし、その関与を重視する国では、家主に入居者との対話や必要な情報を提供するよう促している。他方、「消費者」とみなすところでは、借家人は代表者を選出して、家主と管理や家賃の水準を交渉できるようにしている。

学生C：国際借家人組合は、借家人が住宅管理に関する意思決定に参加する権利を認めるよう、各国政府や家主組織に働きかけている。実際にこうした働きかけにこたえる家主もいる。たとえば、民間賃貸住宅を供給する家主の多くは、借家人の権利を尊重して、借家人が住宅の管理運営に関する意思決定に参加するための仕組みを設けている。

問5 以下の（ア）～（エ）のうち、問題文のタイトルとしてもっとも適切なものを1つ選び、その記号を記せ。

- （ア） Activities of the International Union of Tenants
- （イ） Tenant involvement frameworks
- （ウ） Governance model for cooperative housing
- （エ） Problems with tenant participation

余 白

3 国土交通省が5年ごとに実施している住生活総合調査では、住生活全般に関する実態や居住者の意向等が調査されている。以下に示す図1から図4は、この調査データをもとに作成している。問1から問3に答えよ。(50点)

問1 平成25年から平成30年にかけて、住宅<sup>注1)</sup>に対する総合的な不満率は24.9%から23.1%へと1.8ポイント低下し、一方で居住環境<sup>注2)</sup>に対する総合的な不満率は27.1%から27.8%へと0.7ポイント上昇している。以下の文章の空欄(ア)～(ス)に入る最も適切な語句または数値(小数点以下第1位まで)を答えよ。

図1より、平成25年から平成30年にかけて不満率が最も低下している項目は(ア)であり、(イ)ポイント低下している。2番目に低下している項目は(ウ)であり、(エ)ポイント低下している。これらは、住宅の(オ)に関わる評価であり、近年は住宅の(オ)に関わる性能が向上していることが、住宅の不満率の低下に寄与していると考えられる。

図2より、平成25年から平成30年にかけて不満率が上昇している項目は(カ)と(キ)の2つであり、(カ)は(ク)ポイント、(キ)は(ケ)ポイント、それぞれ上昇している。これらは、居住環境の(コ)に関わる評価であり、近年(サ)が頻発していること等を受けて、(コ)に対する関心が高まっていることが、居住環境の不満率の上昇に影響していると考えられる。(サ)が頻発している現代では、日頃から地域の人々と交流して良好な(シ)を形成していくことが求められている。災害が発生した場合でも、公的な救援(公助)が届くまでの期間、(シ)を基盤とした(ス)を機能させることが重要である。

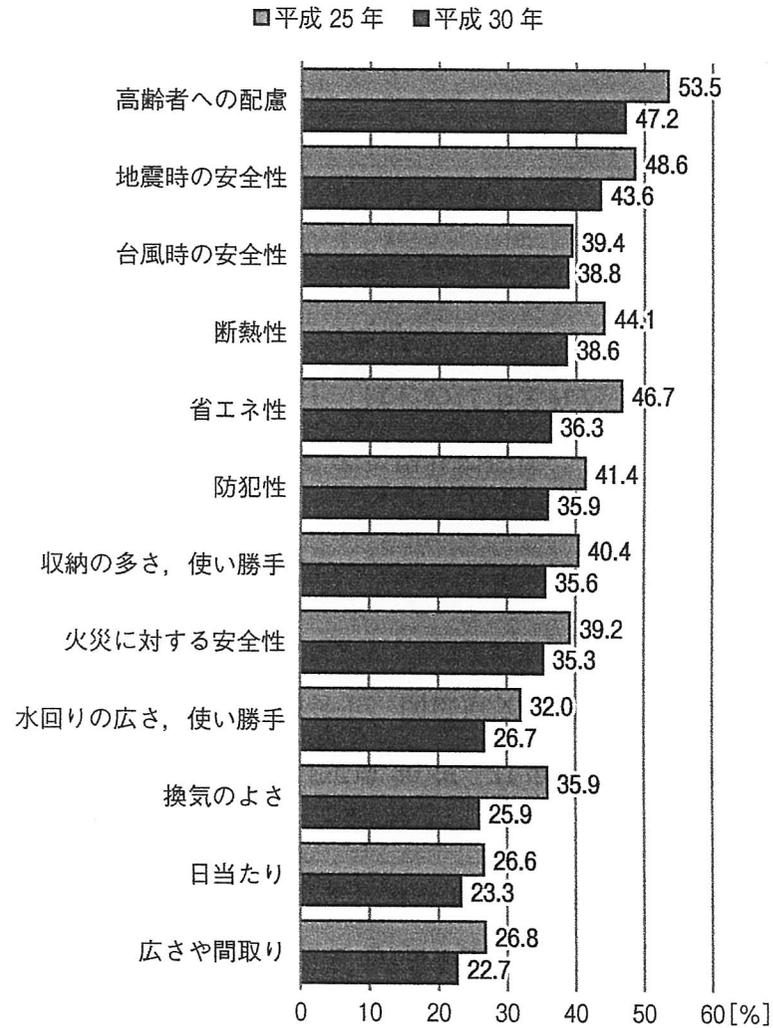


図1 住宅の個別要素に対する不満率

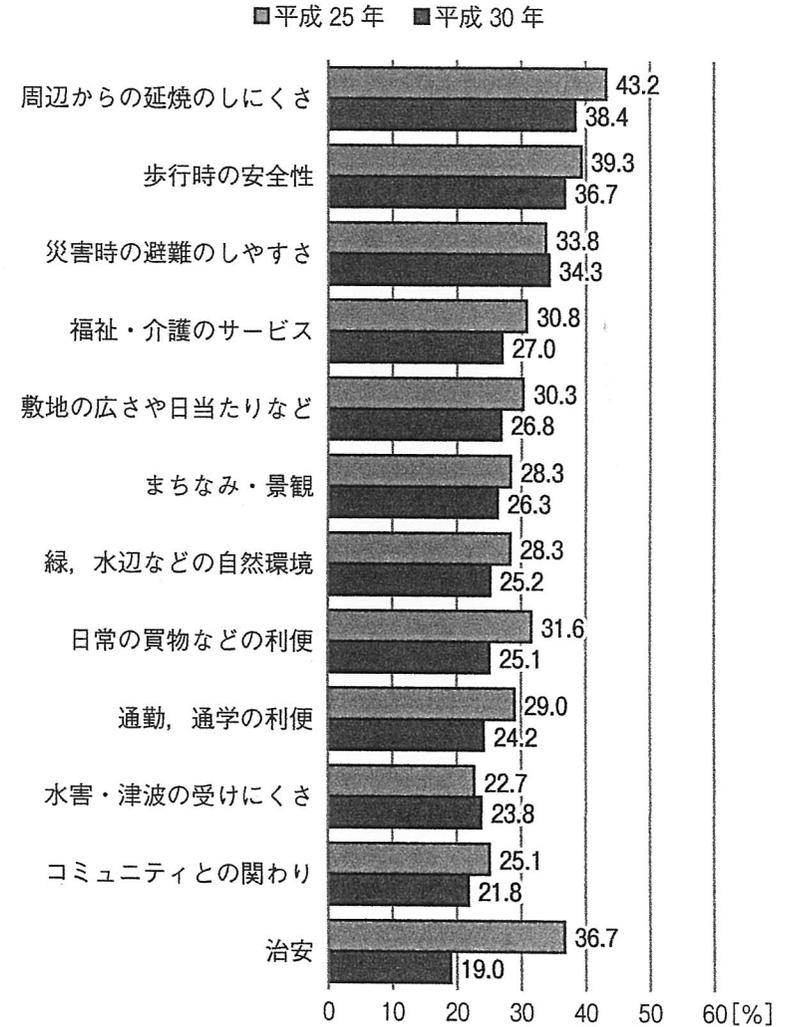


図2 居住環境の個別要素に対する不満率

問2 住生活総合調査では、子育て世帯<sup>注3)</sup>と高齢者世帯<sup>注4)</sup>のそれぞれが重要と思う項目が調査されている。重要と思う割合が「子育て世帯で高齢者世帯よりも10.0ポイント以上大きい」項目と、「高齢者世帯で子育て世帯よりも10.0ポイント以上大きい」項目を図3、図4から読み取り、それぞれに見られる特徴を250字以内で説明せよ。

問3 問2で解答した「重要と思う項目の違い（ライフステージを通じての変化）」に対応するために、①住宅の性能、②住宅性能以外（居住環境、政策、サービス、市場等）のそれぞれで求められることについて、合わせて250字以内で考えを述べよ。

出典：国土交通省住宅局『平成30年 住生活総合調査結果』，令和2年8月7日

（ただし、出題の都合上、図は原文のデータをもとに一部を変更して作成している）

注1) 一戸建の住宅やアパートのように完全に区画された建物の一部で、1つの世帯が独立して家庭生活を営むことができるようにつくられたもの

注2) 現在居住している住宅の周りの環境

注3) 長子（最も年長の子、はじめに生まれた子）が17歳以下の「親と子」世帯

注4) 家計主が65歳以上の世帯

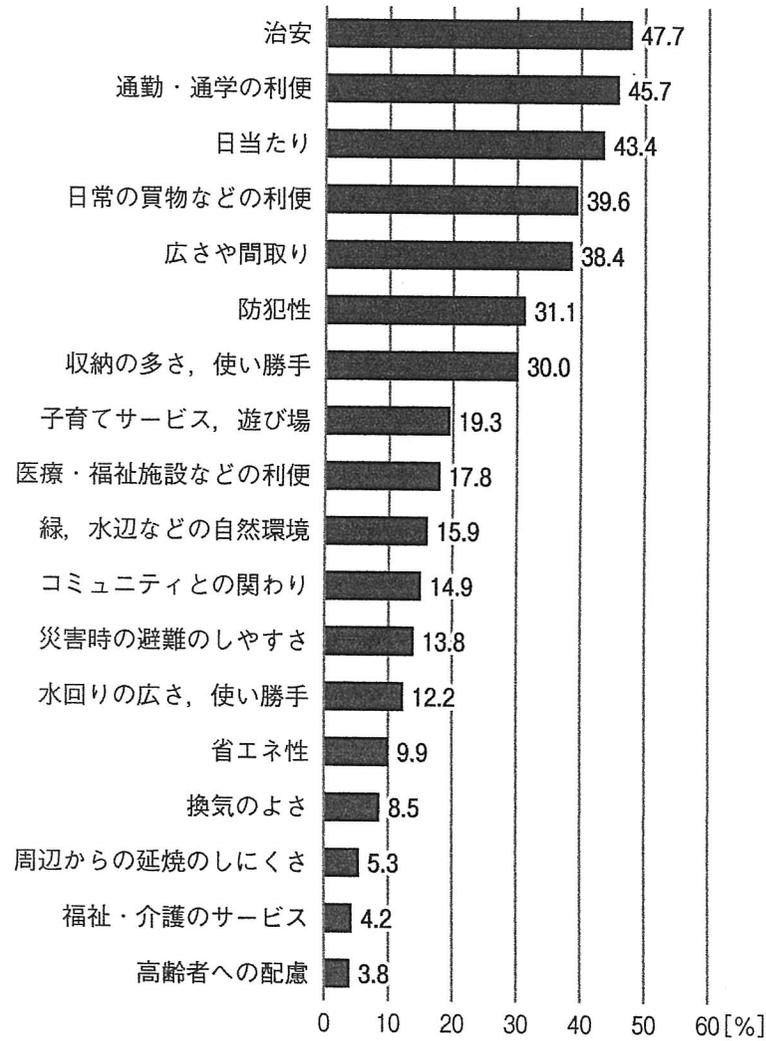


図3 子育て世帯が重要と思う項目とその割合

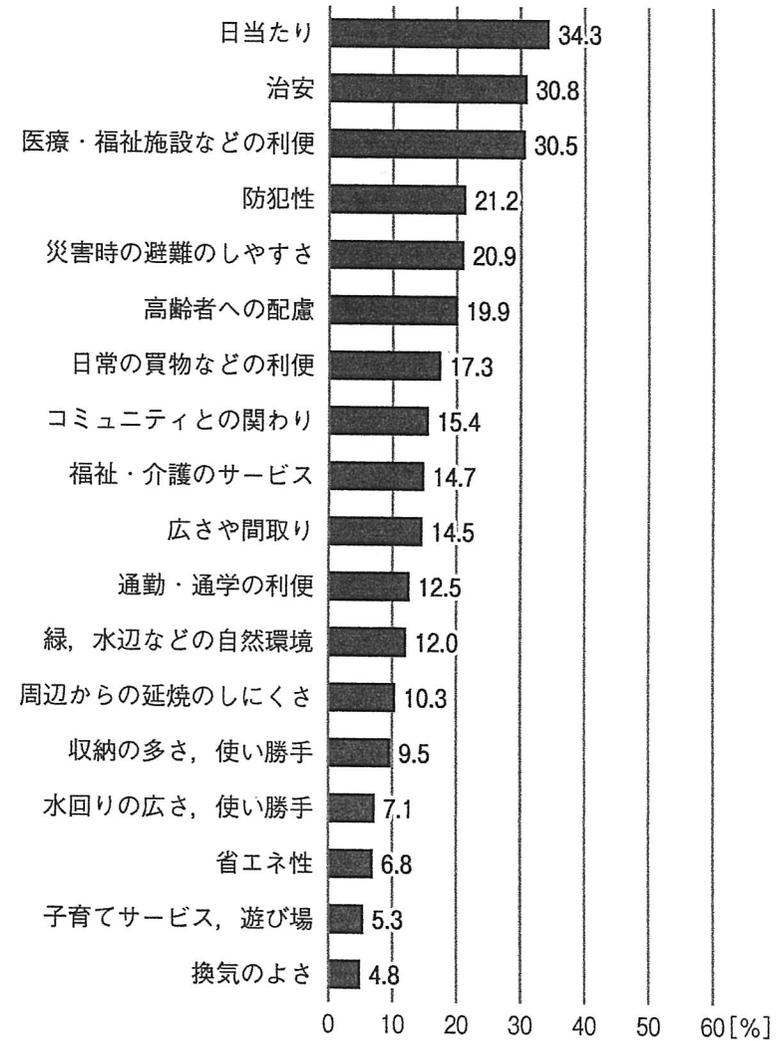


図4 高齢者世帯が重要と思う項目とその割合